

オスプレイの配備・訓練中止を要請

日本共産党市議団が星野沼田市長に

日本共産党利根沼田地区委員会と沼田市議団（井之川博幸、大東宣之）は18日、星野沼田市長に対し、米軍が日本に配備しようとしている「垂直離着陸機MV22 オスプレイ」の配備・飛行訓練計画の中止などを日本政府、在日米軍司令部、米国政府に求めるよう要請しました。

「オスプレイ」は、次々と事故を起こし、日本の飛行訓練地域（ブルールート）に群馬県北部も含まれ、利根沼田地域は低空飛行訓練区域に



星野市長に要請する井之川博幸市議

設定されていることや陸上自衛隊相馬ヶ原駐屯地が日米共有の基地であることからオスプレイの訓練飛行がさらに広い地域で行なわれる恐れもあり、市民の生命と安全を守るために要請を行いました。

県知事が国に「安全性の確認」について要請書

大澤正明群馬県知事は、7月6日付で「MV-22オスプレイの安全性の確認について」、森本防衛大臣に「県民の生命と財産を守る県として、県民生活に深刻な影響与える米国軍用機の飛行に対して適切な対応をとるよう」下記のような要請書を提出しました。

記

1. 政府として、MV-22オスプレイの安全性を十分に確認するとともに、確認結果を国民にわかりやすく説明すること。
2. 政府として、MV-22オスプレイの安全性への懸念が払拭されない限り、国内での訓練飛行が行なわれないようにすること。

原発なくせ!に17万人

7・16さよなら原発10万人集会

原発ゼロを求める国民の願いが、7月16日、東京・代々木公園で開かれた「さよなら原発10万人集会」に結集しました。

利根沼田からは、利根保健生協がチャーターした大型バスいっぱいの52人が参加しました。その他にも電車や自家用車で沢山の人が参加しました。井之川市議をはじめ日本共産党の4人の市町村議も参加しました。（2面に写真特集）

野田首相は、これらの国民の声を真剣に聞くべきです。

利根沼田からも大型バスなどで参加



市民団体などが集まった第1会場、ステージははるか彼方

北部支部「つどい」開催のご案内

消費税増税反対・原発ゼロ・TPP参加阻止

いまの政治への思いを語る「つどい」

日時 **7月28日**（土）午前10時～

会場 **北部後援会ひろば**（元井之川商店）

お詫びと訂正

先週号の記事で10万人集会呼びかけ人のうち「内藤克人さん」となっていたのは、「内橋克人さん」と訂正し、お詫び致します。

2012年7月22日

No.617

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料